

アメリカ文学シンポジウムのご案内

このたび、多くの文学者を輩出してきた北九州の地で
以下のシンポジウムを開催することとなりました。
アメリカ文学研究の世界でまさに巨人の巽孝之先生をメインスピーカーに
九州にかかわりを持つ研究者とコラボする形のシンポジウムは
皆様の探求心を大いに刺激するはずです。
多くの方々のご参加をお待ちしております

★★★

「アメリカ文学と 終末論的想像力」

日時：7月16日（日）
14時～17時

場所：北九州市立文学館

〒803-0813

北九州市小倉北区内 4番1号

★★★

<登壇者>

鈴木一生（九州工業大学講師）

「訪れない救いを待つ——メルヴィルによる黙示録の変奏」

齊藤園子（北九州市立大学教授）

「個人と社会の相克の彼方——Henry JamesとKate Chopinの
作品をもとに考える「自由」のゆくえ」

城戸光世（広島大学教授）

「終末後の世界におけるサバイバル術
——アメリカ版ポストアポカリプス文学を再考する」

巽孝之（慶應義塾大学名誉教授・
慶應義塾ニューヨーク学院長）

「アメリカ大統領と終末論的想像力」

主催
九州アメリカ文学会
江頭理江研究室
(福岡教育大学)



問い合わせ先
江頭研究室 〒811-4192
宗像市赤間文教町 1-1
egashira@fukuoka-edu.ac.jp